

学校法人 滋慶文化学園 福岡ホスピタリティ&ブライダル専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【平成28年6月28日実施】

平成27年度自己点検自己評価(平成27年4月1日～平成28年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		点検・評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1				適切に対応…4 ほぼ適切に対応…3 やや不適切…2 不適切…1	学校関係者評価委員よりの御意見
1 教育理念・目的・育成人材像	1-1 理念・目的・育成人材像は定められているか	4	4	<p>福岡ホスピタリティ&ブライダル専門学校は、学校法人滋慶学園グループの学校としてグループとしてのミッションである「職業人教育を通じて社会に貢献する。」を目的として教育活動を行う。</p> <p>「建学の理念」として ①実学教育 ②人間教育 ③国際教育を掲げ それを実践するため独自の産学協同教育システムを構築していく。</p> <p>それらの活動を通し「4つの信頼」 ① 学生・保護者からの信頼 ② 高等学校からの信頼 ③ 業界からの信頼 ④ 地域の信頼 を得ることを方針として学校運営を行う。</p> <p>建学の理念に基づき、福岡ホスピタリティ&ブライダル専門学校は、業界のニーズに応え、即戦力となる実力を身につけ、ホスピタリティ業界で活躍するためにホスピタリティ、コミュニケーション力、各専門知識・技術(ブライダル・ホテル・トラベル・エアライン・葬祭)及び職業人の基礎でもある社会人基礎力をバランスよく身につけた人材育成を産学連携で行う。</p> <p>産学協同教育を通し、業界が求める技術だけでなく「実践力」と「セルフプロデュース力」そしてお客様に喜んでもらえる「ホスピタリティ」まで身に付けた人材育成をコンセプトとして教育理念に沿った教育の目標を掲げている。</p> <p>就職するだけでなく、業界で活躍するまでの視野に入れた生涯サポートを構築しホスピタリティ分野の人材育成を通して社会に貢献する。</p>	<p>「学校法人滋慶学園グループ」 昭和51年の創立以来、「職業人教育を通じて社会に貢献する」ことをミッションに掲げ、全国に専門学校・教育機関を設置し、業界で即戦力となる人材育成のため、建学時から変わらない「3つの理念」(実学教育、人間教育、国際教育)と「4つの信頼」(業界からの信頼、高校の先生からの信頼、学生・保護者からの信頼、地域からの信頼)を実践することで、理想の教育を目指す。目指せる職種は500以上、北海道から福岡まで70校を有する。</p> <p>「実学教育」 スペシャリストが求められる時代に即し、業界に直結した専門学校として、即戦力となる知識技術を教授する。一人一人の個性を活かし、それぞれの業界で力が発揮できるように構築された『滋慶学園グループ独自の教育システム』。</p> <p>「人間教育」 開校以来、『今日も笑顔で挨拶を』を標語に掲げ、他人への思いやりの気持ちやコミュニケーション能力、リーダーシップがとれる対人スキル等を身につけ、同時にプロ・社会人としての身構え、心構え、気構えを養成する。</p> <p>「国際教育」 コミュニケーション言語としての英語を身につけるだけでなく、日本人としてのアイデンティティを確立した上で、広い視野でモノを捉える国際的感性を養う。</p>	4	<p>・教育理念・目的などは、教員にしっかり根付いていると感じます。それをどう学生に伝えていくのかが、今後の課題になって来るかと思えます。</p> <p>・即戦力としての人材育成も大切だが、今メンタル面で弱い若者が多い。そのためにもコミュニケーションを身につけ、精神的にも強い人材育成が必要だと思う。</p> <p>・教育理念・目的・人材像に関しては、しっかりと定められており、外部講師に対しても適切な対応がなされております。</p>
	1-2 学校の特色は何か						
	1-3 学校の将来構想を抱いているか						
2 学校運営	2-2 運営方針は定められているか	4	4	<p>学園グループ全体の運営方針の基となるのが学園の5カ年計画である。その長期計画をおいて各学校が毎年作成する単年度の計画が事業計画である。</p> <p>学校運営は基準1で挙げた使命・理念共有をベースとしてこれらの計画をもって具体化されている。毎年作成しているこの事業計画書が学校における運営の核となるものである。</p> <p>運営方針、実行方針、実行計画、組織、職務分掌、各目標、意思決定システム、収支予算、将来像など運営上必要な項目が設定されそれぞれが明確になっている。これを基に円滑な運営を行うため教職員で事業計画書を共有するための研修なども実施、チームとしての目標(単年度・中長期)を明確にして学校運営をすすめている。</p> <p>運営していく中で当然出てくる課題や問題は各ミーティングを設定し解決策を出し、実行していく。それらを確実に実践していくためにも関わるすべての人が学校の方向性、学校の方針の実現に向けて同じ方向を向くために、研修や会議、ミーティングを重ね継続的なコミュニケーション強化策を実施してことが重要である。</p>	<p>分野・エリア・チームなど滋慶学園グループにはスケールメリットを生かした学校運営システムが構築されている、そのため運営効率も高い。</p> <p>統合するものばかりでなく、各学校、セクションつまり現場で取り組んでいくものを明確にする事でそれぞれの学校を運営していくために不可欠な「現場力」の低下を防いでいる。</p> <p>各学校の特色や特徴を生かした学校運営を重要と考えているため事業計画書は学校ごとに策定されるだけでなく広報・教務・就職と、学校におけるすべての部署について項目を設けている。すべての部署が同じ方針・考え方を理解しながらもそれぞれの「らしさ」を生かした運営を目指す。</p>	4	<p>・現在、5カ年計画の途中かと思いますが、学園グループの運営方針がしっかり出来ているので、良い方向に向かって行っていると思います。</p> <p>・各学校の特色や特長を生かした学校運営がなされており、適切だと思えます。</p> <p>・ニーズに即した事業計画や運営方針を作成し、周知徹底した取り組みの継続が学園の何上につながっていると思う。その為には、教師力を向上させていくことも必要でないだろうか。</p>
	2-3 事業計画は定められているか						
	2-4 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか						
	2-5 人事や資金での処遇に関する制度は整備されているか						
	2-6 意思決定システムは確立されているか						
	2-7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか						

3 教育活動	3-8-1 各学科の教育目標、育成人材像は、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けられているか	3	業界と教員で教育課程を編成され明確な規定が定められている。教育課程編成の議事録は作成されている。授業科目については、すべてにおいて的確に配分されている。	滋慶学園グループでは、全職員の日課として 1. 専門就職率 100% (就職者/専門分野就職者) 2. 退学率 0% (入学者は全員卒業してもらう) を掲げ、その達成のために構築した2つの重要なシステムを構築している。 第1のシステムは入学前の自己発見→自己変革→自己確立という、自己3段階教育と、動機づけ・目的意識づけプログラムである。入学前からの一貫した育成システムと目的意識をもって取り組むプログラムの組み合わせにより、モチベーション向上を果たしている。 第2のシステムは、即戦力としての実践的技術・知識、ビジネスマインド等を身につけるための教育システムー「産学協同教育システム」である。 ①企業プロジェクト ②ダブルメジャー・カリキュラム ③業界研修 ④海外実学研修 ⑤特別ゼミ ⑥特別講義	3	・授業カリキュラムなど、講師の方との協力やアドバイスを元に、業界のニーズにより合わせていけたらと思います。
	3-8-2 修業年限に対応した教育到達レベルは明確にされているか		理念に基づき教育到達レベル、学科毎の目標を業界が求めている人材に合うよう設定し明確に明示している。 補講対象者に関しては卒業に必要な単位が取れていない学生がいる。			・風紀の部分が少しゆるい(甘い)かと思います。(女子学生の髪型など長さのある方は制服を着用の際は結ぶなど)学校見学に来られる企業様も多いので見た目も気になります。
	3-9-1 カリキュラムは体系的に編成されているか		単位数、各授業、科目に目標設定されており適切な授業内容を提供している。 職教育活動は、滋慶学園グループの理念、「実学教育」「人間教育」「国際教育」をもとに、構築されている。			・業界での即戦力となりうる人材育成に関しても、カリキュラムなどが体系的に編成され、年々対応力が像られていると思います。
	3-9-2 学科の各科目は、カリキュラムの中で適正な位置付けをされているか		職業教育は常に業界と密接な関連を持たなければ、教育目標、育成人材像は正しく方向づけられないと考えており、業界の人材行動を常にキャッチし、その変化に対応して養成目的や教育目標の見直しを毎年実施している。			・卒業改善、教職員の資質向上を図るためには、学生の授業評価を実施し、それを活用した教師アップシステムが必要ではないか。
	3-9-3 キャリア教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法などが実施されているか		本校は教育システムとして、独自の「産学協同教育システム」を構築しており、このシステムにより、業界で即戦力となりうる人材を育成、輩出できている。			
	3-9-4 授業評価の実施・評価体制はあるか		教育目標達成のためのカリキュラムは、入学前から卒業まで、体系的に編成されている。カリキュラムは学科に関わるもののみならず、社会的・職業的自立を目指し、「キャリア教育」の視点に立ったものになっている。			
	3-11-1 育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		授業改善、教職員・講師の資質向上等を目的とし、授業評価を実施しているが、これを通して講師や学生の状況を正確に把握し、総合的な判断ができる要因となっている。			
	3-12-2 教員の専門性を向上させる研修を行っているか		成績評価・単位認定の基準を明確にし、学生指導を行っているが、明確な基準と共に、柔軟な対応ができる余地を残すことで、すべての学生が学科の目標を達成した上で、進級・卒業できる体制を作っている。			
	3-10-1 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか		資格取得については、国家検定である「レストランサービス技能検定」については、厚生労働大臣指定試験機関 一般社団法人 日本ホテル・レストランサービス技能協会の決められたカリキュラム、施設が整っている。その他にも、厚生労働省より認定を受けた葬祭ディレクター技能審査協会より「葬祭ディレクター技能審査」の認定校規定を基にカリキュラム、施設が整っている。			
	3-11-2 資格取得の指導体制はあるか					
4 教育成果	4-13-1 就職率(卒業生就職率・求職者就職率・専門就職率)の向上が図られているか	3	教育成果は目標達成の努力の結果であるが、本校では、専門就職率(就職者/専門分野就職者)100%、退学者0名 を教育成果の最終目標に学校運営を行っている。	退学者を軽減させるため、個別面談を行い、ひとり一人を大切にされた対応を行っている。 教育成果が学生満足度にも繋がり、退学者減少に繋がるとも考え、授業内容など、業界と共に見直しをおこなっている。	3	・教育成果に関して一人一人を大切にされたご対応をされ、常に見直しを行っていると思います。
	4-14 資格取得率の向上が図られているか		毎年、入学者目標と退学者目標を設定し、目標の達成度合いを確認・管理しているので、各年度の数字は明確になっている。	入学後から個別カウンセリングを行い、退学者減少に力をいれている。昨年度は退学者を多く出しているため、一人ひとりの出席状況も把握するとともに保護者との連携を強化している。		・中途退学者を出さない姿勢は評価できるが、それによって他の学生のモチベーション低下につながっているような気がする。
	4-21 退学者の低減が図られているか		「職業人教育を通じて社会に貢献する」を基に指導にあたる。第一専門職に全員就職させ、中途退学者をださないことを目標に学校運営を行っている。	実学教育・人間教育・国際教育を基に、「学生・保護者からの信頼」「高等学校からの信頼」「業界からの信頼」「地域からの信頼」に努め学校運営を行っている。卒業生に関しては同窓会を通して動向を把握するようにしている。		
	4-15-1 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		卒業生を輩出した企業様との連携や、独自の卒業生との連絡網を構築し、状況の確認を行う。その他にも同窓会システムを活用し、年に1度同窓会を行い状況把握を行う。	早期就職内定の為、個人面談を行い、一人ひとりに合わせた指導を行なっている。		・企業との連携を密にした取り組みをするために企業やOBを導入する事で、社会の厳しさが分かり社会に出た時に役立つのではないかと。

5 学生 支援	5-16-1 就職に関する体制は整備されているか	3	<p>本校では、学生が目標を達成できるように、物心両面の環境を整備していくことで支援に繋がると考える。しかし、支援はあくまでも支援である。例えば、健康の維持は学業目標達成には欠かせない事項であり、本校でも健康診断にとどまらず、多くの支援体制を築き上げているが、学生本人が健康管理についての自覚を持たない場合、支援は効果がない。それゆえ、学生支援はまず学生の自立的行動を促すことから始めている。</p> <p>学生支援には、①就職 ②学費 ③学生生活 ④健康 などの分野で行っているが、それぞれの分野で対応できる担当部署及び担当者も置いている。</p> <p>①就職については、専門部署であるキャリアセンターを設置し、担任との強い連携をとりながら、就職の相談、斡旋、面接他各種指導などの支援をしている。</p> <p>②学費については、相談窓口として事務局会計課を置き、提供できる学費面でのサービスをアドバイスするファイナンシャルアドバイザーにより支援している。</p> <p>③学生生活については、担任及び副担任制により行うが、それ以外にもJTSO(ジケイオータルサポートセンター)という悩みや相談を受ける専門部署を設置、支援している。</p> <p>④健康については、滋慶学園グループのクリニックである慶生会クリニック福岡が担当し、在学中の健康管理を支援している。</p>	<p>課外活動については、福岡の姉妹校とともにクラブ活動に支援があり、学生が満足できる環境は、整っている。</p> <p>また、食事面のサポートも、ジケイれすとらんがあり、低価格で充実した食事を提供し、健康面の支援を行っている。</p> <p>学校の施設も、授業外に実習室を開放し、使用できる環境も整えている。</p> <p>入学後1ヶ月以内にすべての保護者と担任挨拶を兼ねて連絡を取り、連携を強化するようにしている。</p> <p>卒業生への支援体制に関しては現在構築中である。</p>	4	<p>・個人面談などされており、他校よりは一人一人のサポートは手厚くされていると思いますが、まだ就活などで悩んでいる学生がいるので、引き続き相談しやすい環境づくりをお願いします。</p> <p>・学生支援に関しましてはそれぞれの分野で窓口がしっかりとしており、対応なさっているといます。</p>
	5-18-1 学生相談に関する体制は整備されているか					
	5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか					
	5-19-2 学生の健康管理を担う組織体制はあるか					
	5-19-4 課外活動に対する支援体制は整備されているか					
	5-19-3 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか					
	5-20-1 保護者と適切に連携しているか					
5-21-1 卒業生への支援体制はあるか						
6 教育 環境	6-22-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	<p>最新の設備、機材など、業界で必要とされる最新・最良のものを完備する考えで運営している。毎年、事業計画で、予算を計上し計画通りに更新している。</p> <p>本校では、即戦力の人材育成を目的の一つとしている。インターンシップ先とは綿密な連携をとり、十分な学習環境を提供している。また、海外実学研修では、それぞれの教育機関や現地の企業と提携し、本場のホスピタリティの指導を行い、十分な教育体制を整備していると考え</p>	<p>学生数などに応じ、機材や設備に必要なものを整え、学生の教育効果を常に考えている。また、メンテナンスも重要で、関連企業とも連携をとっている。</p> <p>本校の特色である産学協同教育の一貫として、インターンシップを行っているが、これについてはかなりの学習効果、教育成果を上げており、毎年この研修を通じ、数名の学生が内定をいただいている。また、海外実学研修は本校の建学理念の1つである「国際教育」実現に貢献している。</p> <p>教職員・学生対象の避難訓練を毎年実施し、災害に備えている。そのため、マニュアルを整備し、教職員の役割分担表を作成して学生への情報提供など、体制は整備されている。また学園全体の取り組みとして携帯端末を使った安否確認システムを構築している。</p>	4	<p>・学校内の内装や大きな設備、機材など充実しておりますが、授業などに使う小物や備品なども、定期的にヒアリングをして頂ければよいかと思います。</p> <p>・教育環境に関しましては施設・設備等、よく整備され、防災に対する体制も整備されていると思います。</p> <p>・海外研修の費用が高いと学生から相談を受けた。費用の検討をされてほしい。せっかくなので、トラベルコース生徒のツアープランもあって良いと思います。</p>
	6-23 学外実習、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか					
	6-24 防災に対する体制は整備されているか					

<p>7 学生の募集と受け入れ</p>	<p>7-25-1 学生募集活動は、適正に行われているか</p> <p>7-25-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか</p> <p>7-26-1 入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか</p> <p>7-27-1 学納金は妥当なものとなっているか</p>	<p>4</p>	<p>本校は、福岡県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会の定めたルールに基づいた募集開始時期、募集内容(AO入試等)を遵守している。また過大な広告を一切廃し、必要な場合は根拠数字を記載するなど、適切な学生募集ができるように配慮している。</p> <p>広報・告知に関しては、各種媒体、入学案内、説明会への参加やホームページを活用して、学校告知を実施し、教育内容等を正しく知ってもらうように努めている。</p> <p>これらすべての広報活動等において収集した個人情報・出願・新入生の個人情報等本校に関わるものの個人情報は、校内に個人情報委員会を設置し、厳重に管理し、流出及び他目的に使用しないように、管理の徹底を図っている。</p> <p>入学選考に関しては、出願受付及び選考日を学生募集要項に明示し、決められた日程に実施しているが、入学選考後は、「入学選考会議」により、可否を決定する。</p> <p>なお、本校における入学選考は、学生募集要項にも明示している通り、「面接選考」及び「書類選考」であるが、その基準となるのは、「目的意識」である。</p> <p>将来目指す業界への職業意識や具体的な目標がしっかりしているかを確認すると共に、その目的が本校より提供する教育プログラム及びカリキュラムにおいて実現可能かを確認するもので、入学試験という名称のもと、学科試験を行うものではない。</p> <p>学納金や預かり金、教材等の見直しを毎年行っており、学費及び諸経費の無駄な支出をチェックしている。</p> <p>保護者への授業料及び諸経費の提示についても、入学前の段階において、年間必要額を学生募集要項に明記し、基本的に期中で追加徴収を行わない。</p>	<p>学生募集については、募集開始時期、募集内容等々ルールを遵守し、また、過大な広告を一切排除し、厳正な学生募集に配慮している。</p> <p>広報活動は、第一に「入学前教育」を前提とする活動である。将来、目指す職業を自ら見つけることのできる自己発見の場を提供することに尽力し、入学前に職業観をどれだけ明確にできたかというキャリア教育に重点を置き、体験入学や説明会への複数回参加を促し、充分理解して疑問を解消し、満足した上で出願してもらうことを心がけている。</p>	<p>3</p>	<p>・学校募集と受け入れに関しても適切に行っていると思います。</p> <p>・体験入学を「入学前教育」として、目指す職業を自ら見つける場にすれば、もう少し内容を見直してもよいと思います。(体験入学楽しかったとその時の満足で終わっている感じもあります)</p> <p>・入試の際に参考として、国・社・理・数・英の試験をしてほしい。あくまでもその生徒の基礎学力を把握できる資料として。</p>
<p>8 財務</p>	<p>8-28-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか</p> <p>8-29 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか</p> <p>8-30 財務について会計監査が適正に行われているか</p> <p>8-31 財務情報公開の体制整備はできているか</p>	<p>4</p>	<p>財務は、学校運営に関して、重要な要素の1つである。</p> <p>その中で予算(収支計画)は学校運営に不可欠なものであって、その予算を正確かつ実現可能なものとして作成する必要がある。</p> <p>毎年、次年度事業計画を作成し、その事業計画の中に5ヶ年の収支予算を立てているが、次年度の収支予算はもちろんのこと、中長期的に予算を立てることによって、学校の財務基盤を安定させるための計画を事前に組んでおくのが目的である。</p> <p>5ヶ年の予算は、5ヶ年を見越した中長期的事業計画内で、新学科構想、設備支出等について計画し、将来の学生数、広報・就職計画を鑑みながら予測し、収支計画を作成するが、学校、学園本部、理事会・評議員会と複数の目でチェックするため、より現実にも即した予算編成となっており、健全な学校運営ができていると考えている。</p> <p>会計監査は、法人及び学校の利害関係者に対して、法人等の正確かつ信頼できる情報を提供するために、第三者による監査人が法人とは独立し計算書類が適切かどうかを監査することを意味する。</p> <p>平成17年4月から私立学校法が改正され、学校法人の財務情報公開が義務づけられたが、これに迅速に取り組み、「財務情報公開規程」及び情報公開マニュアルを作成し、財務情報公開を行なっている。</p>	<p>予算を正確かつ実現可能なものにするための2つの要素がある。</p> <p>①正確かつ実現可能な予算の作成 予算は短期的、中長期的の2種類がある。短期的は次期1期間のもの、中長期的は2～5年間のものである。</p> <p>当学校法人及び学校では、短期的と中長期的の両方を事業計画書として作成し、短期的視野と中長期的視野の2つの観点から予算編成している。</p> <p>短期的な予算編成は当年度の実績を基礎に次年度に予定している業務計画を加味して行われる。</p> <p>中長期的な予算編成は主として大規模な計画を視野に入れた上で、業界の情勢を読み取りながら行われる。</p> <p>正確かつ実現可能な予算作成のためには、一旦作成した予算が現実のものとならなくなった場合はそれを修正する必要がある。そのために短期的な予算においては期中に「修正予算」を組み、中長期的な予算においては毎年編成しなおすことにしている。</p> <p>これにより、短期的にも中長期的にも正確かつ実現可能な予算編成を組むことができる。</p> <p>②①のための体制作り ①のように実現可能な予算作成するためには、その体制作りが必要になる。</p> <p>事業計画・予算は学校責任者が協議して作成し、滋慶学園本部がチェックし、修正して最終的に理事会・評議員会が承認する体制を整えている。さらに、予算に基づいて学校運営がなされているかどうかは四半期ごとに予算実績対比を出し、学校責任者と学園本部が協議し予算と実績が乖離しているようであれば修正予算を編成し、理事会・評議員会の承認を得る。作成した決算書、事業報告書については、情報公開の対象となり、利害関係者の閲覧に供することとなる。</p>	<p>4</p>	<p>・学校運営の中長期的計画の下、よく整備されており適切に執行されている。</p> <p>・財務情報公開体制で、透明性がありわかりやすくなった。</p>

<p style="text-align: center;">9 法令等の遵守</p>	<p>9-32 法令、設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか</p> <p>9-33 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか</p> <p>9-34 自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか</p> <p>9-35 自己点検・自己評価結果を公開しているか</p>	<p style="text-align: center;">3</p>	<p>法令を遵守するという考えは、滋慶学園グループ全体の方針として掲げ、各校の教職員全員でその方針を理解し、実行に努めている。 法人理事会のもとに、コンプライアンス委員会で学校運営が適切かどうかを判断している。 現状では、学校運営(学科運営)が適切かどうかは次ぎの各調査等においてチェックできるようにしている。 ①学校法人調査 ②自己点検・自己評価 ③学校基礎調査 ④専修学校各種学校調査 ⑤学校施設認定規則に基づく報告 等である。 また、組織体制強化やシステム構築にも努め、次のようなものがある。 (A)組織体制 ①財務情報公開体制(学校法人) ②個人情報管理体制(滋慶学園グループ) ③広告倫理委員会(滋慶学園グループ) ④進路変更委員会(滋慶学園グループ) (B)システム(管理システム) ①個人情報管理システム(滋慶学園グループ) ②建物安全管理システム(滋慶学園グループ) ③防災管理システム(滋慶学園グループ) ④部品購入棚卸システム(滋慶学園グループ) ⑤コンピュータ管理システム(COMグループ)</p> <p>滋慶学園グループ、COMグループと全体というスケールメリットを活かし、各委員会、体制、システムにより、各校が常に健やかな学校(学科)運営ができるようにしている。 法令や設置基準の遵守に対する方針は明文化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは完全に整備できている。</p>	<p>3つ教育「実学教育」、「人間教育」、「国際教育」で「職業教育を通じて社会に貢献する」という建学の理念の実現を目指し、4つの信頼(「業界の信頼」、「高校の先生の信頼」、「学生・保護者の信頼」、「地域の信頼」)を確保するためにコンプライアンス推進をはかる。 具体的には、すべての法令を遵守するとともに、社会規範を尊重し、高い倫理観に基づき、社会人としての良識に従い、行動することが私たちの重要な社会的使命と認識し、実践する。</p> <p>方針実行のため、学内にコンプライアンス委員会を設置し、コンプライアンスを確実に実践・推進に当たらせることにした。 委員長は、統括責任者としての学校の役員が就任する。委員は学校の現場責任者である事務局長と実務責任者の教務部長で構成される。 主な任務は、行動規範・コンプライアンス規程の作成、コンプライアンスに関する教育・研修の実施、コンプライアンス抵触事案への対応及び再発の牛対策の検討・実施、コンプライアンスの周知徹底のためのPR、啓蒙文書等の作成・配布である。</p> <p>監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象として、コンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。</p> <p>今後は、コンプライアンス相談窓口の設置が必須であると考える。</p> <p>自己点検、自己評価に関しては年に一度行い、その結果はホームページ上で公開している。 また年二回の教育課程編成委員会などを通して、問題点の解決に取り組んでいる。</p>	<p style="text-align: center;">4</p>	<p>・開校3年目というもあり、今から構築していられる所だと思います。</p> <p>・法令等の遵守に関しまして、適切に行われていると思われまます。</p>
<p style="text-align: center;">10 社会貢献</p>	<p>10-36 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか</p> <p>10-37 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか</p>	<p style="text-align: center;">3</p>	<p>本校には、滋慶学園グループの「4つの信頼」(①業界の信頼 ②高等学校からの信頼 ③学生・保護者の信頼 ④地域の信頼)というコンセプトがある。 この「4つの信頼」の獲得を目指すことが社会貢献に繋がると考えている</p> <p>地球温暖化防止対策に取り組み、社会貢献に繋がっている。</p>	<p>本校の施設、設備を活用し、「4つの信頼」を行い、社会貢献に繋げいく。 例えば、業界の信頼では、学校施設を活用し、各種イベントを積極的に支援し、社会貢献に繋げている。 年3回ある、学内イベントでは、高等学校の先生、地域の方、保護者に招待状を送り、学校の施設を開放し社会貢献に繋げている。 そのほかにも、各ボランティアにも積極的に参加や、近隣の清掃活動なども行っている。</p>	<p style="text-align: center;">4</p>	<p>・先日の熊本・大分地震に対してもすぐ募金活動や被害学生への援助に対する取り組みをされているとの事なので、貢献できているかと思います。</p> <p>・校内イベントでは地域の方々、保護者の方々、高校の先生方などに開放され社会貢献につなげて行っていると思います。</p> <p>・他にも様々な行事が行われているので、社会体験で参加させてほしい。</p>